

私は、令和6年3月議会時から財政悪化を指摘し交流センターや小中学校・体育館等を建設する場合、市民へ雲南市の財政状況を説明し、統廃合や減築も含めた建設計画を提示していただくよう提案していましたが、改善されないまま令和7年2月に令和1年度の「**実質公債費比率見込み（3年平均）を約18%と公表。**」雲南市の財政状況に赤信号が点灯しました。結果、令和7年度予算は、令和6年度比**5%減**となっています。

地方債発行残高（借入金残高）は、令和6年度345億円であったものが、令和1年度末で278億円（20%減少）に減少するが、基金（預貯金）は**令和6年度78億円から令和1年度には25億円（70%減少）に激減する計画**です。今後、災害発生時、思い切った市民への救済支援が雲南市独自ではできない可能性もあります。



令和7年3月定例会 所感

実質公債費比率 18%は、雲南市財政の**危険信号点灯**を意味します

実質公債費比率が 18%になると何がまずいのか？



実質公債費比率は、地方公共団体の一般会計等が負担する地方債（元利償還金及び準元利償還金）の返済額及びこれに準じる額の財政規模に対する割合の指標で、資金繰りの程度を表す指標です。

この実質公債費比率が 18%以上になると、地方債の発行に県の許可やこの比率を引き下げるための方策（公債費負担適正化計画）の策定が必要となります。

結果、自由に借りができなくなります！

①中期財政計画における**実質公債費率** (単位：%)

項目/年度	R5	6	7	8	9	10	11
単年度	12.0	12.5	12.9	13.4	14.3	16.4	17.9
3年平均	11.2	11.8	12.4	12.9	13.5	14.6	16.1

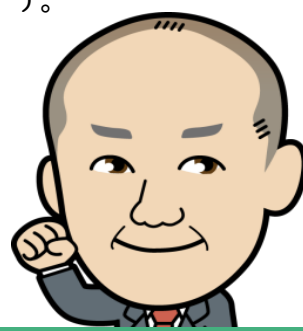
②中期財政計画における**基金残高（貯金残高）** (単位：百万円)

項目/年度	R5	6	7	8	9	10	11
基金残高	9,636	7,829	6,295	4,985	4,167	3,279	2,552
財政調整基金	1,440	1,441	960	570	481	282	104
減債基金	3,139	1,840	1,142	744	546	398	400
特定目的基金	5,057	4,548	4,193	3,671	3,140	2,599	2,048

③中期財政計画における**地方債発行高（借入金残高）** (単位：百万円)

項目/年度	R5	6	7	8	9	10	11
地方債	35,703	34,561	36,124	34,740	32,480	30,325	27,855

基金残高（貯金）も令和6年から**70%激減**する見込みですが、この状態で借入れも制限されてしまうという状況の危険性は誰の目にも明らかでしょう。



令和7年3月定例会

雲南市財政に 危険信号点灯



2月28日から3月21日までの22日間の会期で開催された、令和7年3月定例会の一般質問の中で、特に重要なものを抜粋・掲載しています。

質問 1

雲南市財政の悪化傾向について

問 令和7年2月発表の雲南市中期財政計画で実質公債費比率17.9%を公表。この数字は、財政危機を意味している。今後も小中学校・ごみ焼却場等の建設計画がある。人口減少の中、次の世代に莫大な地方債(借入金)を残してはいけなのではないか。

回答…市長(石飛 厚志)

地方債の返済は、その利用に対して各世代間で公平に負担をしていくもの。今の世代も将来の世代もそうした

負担を担っていく。適正な地方債発行、あるいは実質公債費比率の管理を行い、必要な事業が実施できる体制を将来も維持していく。

意見

市長は、何ををもって公平といっているのか。現在、雲南市の**高校生一学年生は300人、0歳児は150人**となっており、今後10～15年後の人口は大幅に減少する可能性がある。

人口減少の中、地方債残300億円を市民3万人で返済するのと、人口減少により少なくなった市民で返済するのでは、額的に公平ではない。

市長は人口減少の中、少しでも地方債残高(借入残高)を減らす努力が必要ではないか。

質問 2

木次中学校新築計画について

問 財政悪化・人口減少の中で、木次中学校建設計画を中学校関係者へ提案されたが、関係者に市の財政状況を説明したのか。

回答…副市長(西村 建二)

毎年2月に作成する中期財政計画

を市のホームページで公表。

当初予算は「よくわかる予算説明書」として市報に掲載し、その中で収支不足や基金・地方債の残高などを説明している。

意見

結局、関係者へ説明していない！

それと、これは副市長に対する要望だが、令和7年3月現在、令和5年度の決算書が市のHPに公表されていない。

速やかに公表し、市の財政状況を明らかにして欲しい。

質問 3

総合センターのあり方について

問 木次町・三刀屋町・加茂町・大東町の総合センターは不要、ただし本庁から遠い吉田町・掛合町や免許返納者、車や交通手段を持たない方への配慮は必要。

回答…市長(石飛 厚志)

総合センターは、窓口業務だけでなく災害時の対応等含めて議論が必要。

意見

合併前と同じでは意味がない。

雲南市の将来を考え、改善が必要。

質問 4

財政健全化策について

問 実質公債費比率18%が予想されても危機感を持った回答に见えない。健全化計画の有無を確認したい。

回答…市長(石飛 厚志)

現時点で15%を上回る実質公債費比率が見込まれる中では、公債費負担の適正化に向けた取組を強化する必要がある。まずは財源措置の乏しい地方債の発行総額を抑制し、今後の公債費の低減を図るとともに、行財政改革の推進等から生み出す財源で繰上償還の実施・起債(借入金)の借換えなどによる公債費負担の平準化についても検討していく必要がある。

要望

国県からの予算獲得が重要

常日頃から国県のHPを閲覧し、雲南市以外の予算獲得に努めていただきたい。

その他の質問は、
議会動画アーカイブ
をご覧ください。

